

2022年度 決算説明会

2023年5月16日

広栄化学株式会社
代表取締役社長 西本 麗

目 次

100年の技術と信頼を明日へ



◆ 1 .会社概要	 2
◆ 2 .2022年度決算概要	 7
◆ 3 .2023年度業績見通し	 14
◆ 4 .中期経営計画進捗・トピックス	 20
◆ 5 .その他	 36

目 次

100年の技術と信頼を明日へ



◆ 1 .会社概要	 2
2 .2022年度決算概要	 7
3 .2023年度業績見通し	 14
4 .中期経営計画進捗・トピックス	 20
5 .その他	 36

1. 会社概要

(1) 会社概要

①設立 1917年6月17日

②資本金 2,343百万円

③社員数 409名 (2023年3月末)

④拠点

東京本社：
東京都中央区日本橋小網町1番8号

千葉事業所：
千葉県袖ヶ浦市北袖25番地

ベルギー：
駐在員 (住友化学ヨーロッパ出向)



千葉事業所

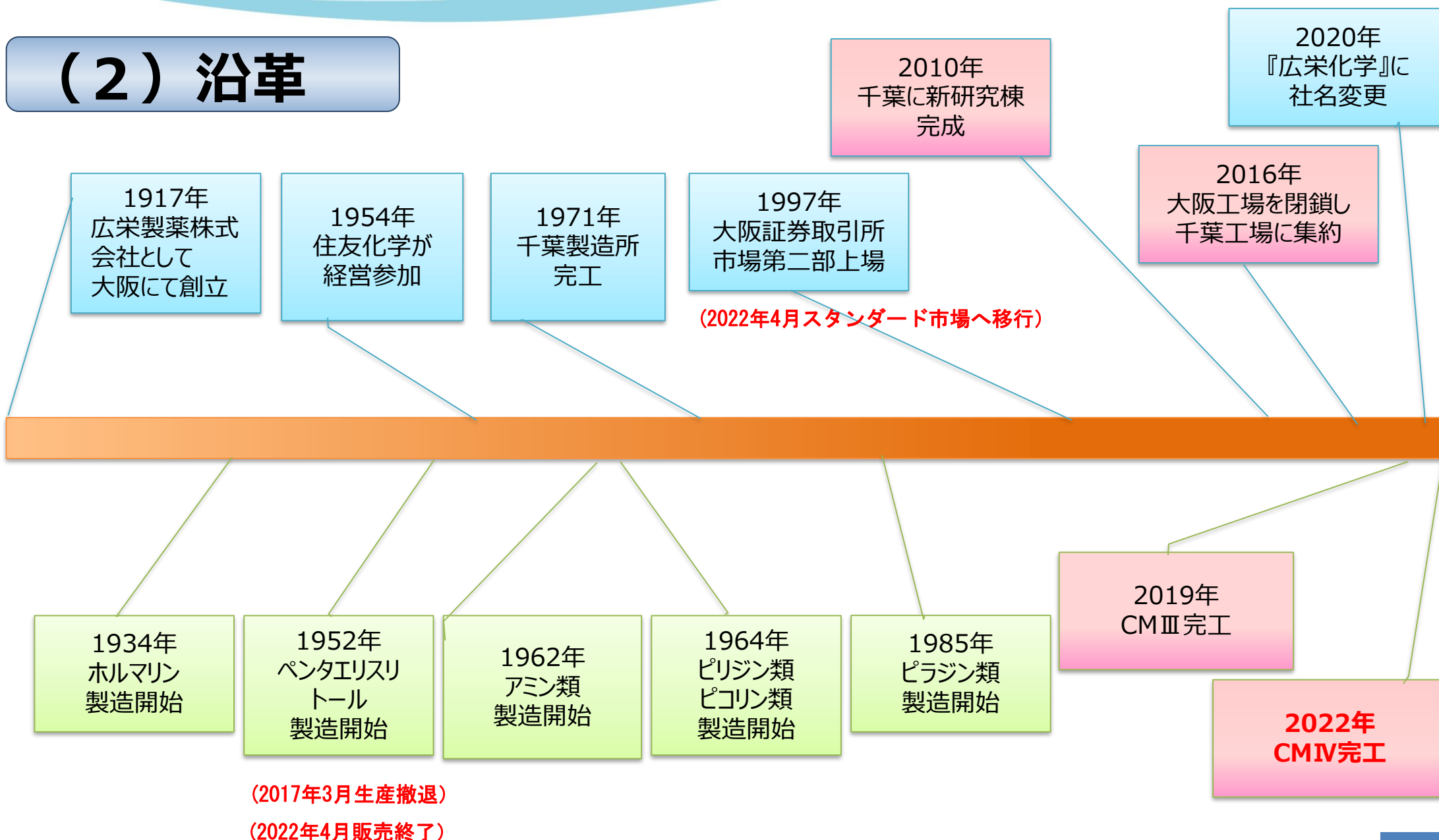


東京本社



1. 会社概要

(2) 沿革



1. 会社概要

(3) 事業内容 ① 基盤製品

広栄化学は、含窒素化合物のパイオニアです

ピリジン類

主な用途

医薬原料・農薬原料
電材関連・溶剤等

国内唯一の合成
ピリジンメーカー



ピラジン類

主な用途

結核薬ピラジナミド

ピラジナミド原料CPZは、
世界シェアNo.1



アミン類

主な用途

界面活性剤・樹脂
塗料・潤滑油
ゴム薬・
CO₂吸収材等

数十種類の特殊アミン製造
少量多品種対応



ホルマリン

主な用途

接着剤・塗料・樹脂・酸化
防止剤等

多価アルコール類

主な用途

建造物・自動車用塗料
インキ・コーティング
接着剤・潤滑油等

2022年4月をもって
販売代理店契約終了

1. 会社概要

(3) 事業内容 ②カスタム合成製品

医農薬中間体

培ってきた含窒素化合物の合成技術を生かし、
独自工業化プロセスを開発

国内外多数の製薬会社に
医薬中間体を供給

有機金属触媒

ポリオレフィン用重合触媒
であるメタロセン触媒に代表される
有機金属触媒を製造

有機合成技術と禁水・禁酸素
条件を組み合わせる
プロセスを構築

その他受託製品

電子材料関連製品等

(3) 事業内容 ③機能性製品

イオン液体

主な用途

帯電防止剤・電解液
溶媒等



ウレタン関連製品

URECKO®
KONPUS®

カスタム合成製品・機能性製品は、主にマルチプラント（CMⅠ、CMⅡ、CMⅢ）で生産
2022年10月に、新たなマルチプラント4系列目（CMⅣ）が稼働。

目 次

100年の技術と信頼を明日へ



1 .会社概要		2
◆ 2 .2022年度決算概要		7
3 .2023年度業績見通し		14
4 .中期経営計画進捗・トピックス		20
5 .その他		36

2. 2022年度決算概要

100年の技術と信頼を明日へ



(1) 決算ハイライト

(単位：百万円)

	2022年度 実績	2021年度 実績	増減 (前期比)	2022年度 (公表予想)	2022年度 (中期計画)
売上高	18,601	17,296	1,305	18,500	19,500
営業利益	832	508	324	900	1,100
経常利益	855	802	53	900	
当期純利益	690	940	△249	700	800
1株当たり利益	141.24円	192.32円	△51.08円		
1株当たり配当金	100.00円	100.00円	-		

2. 2022年度決算概要

100年の技術と信頼を明日へ



(2) 売上高 … 製品グループ別【前期比】

(単位：百万円)

	2022年度 実績	2021年度 実績	増 減	増減の主な内訳
医農薬化学品	8,237	6,435	1,801	腎疾患薬等関連 (↑) 農薬関連 (↑) 肺線維症治療薬中間体 (↓)
機能性化学品	7,611	7,862	△251	イオン液体 (↓) 電子材料関連 (↑)
そ の 他	2,753	2,998	△245	樹脂用原料 (↓)
合 計	18,601	17,296	1,305	(売価差+2,365、数量差△1,060)

2. 2022年度決算概要

100年の技術と信頼を明日へ



(3) 売上高 … 輸出地域別【前期比】

(単位：百万円)

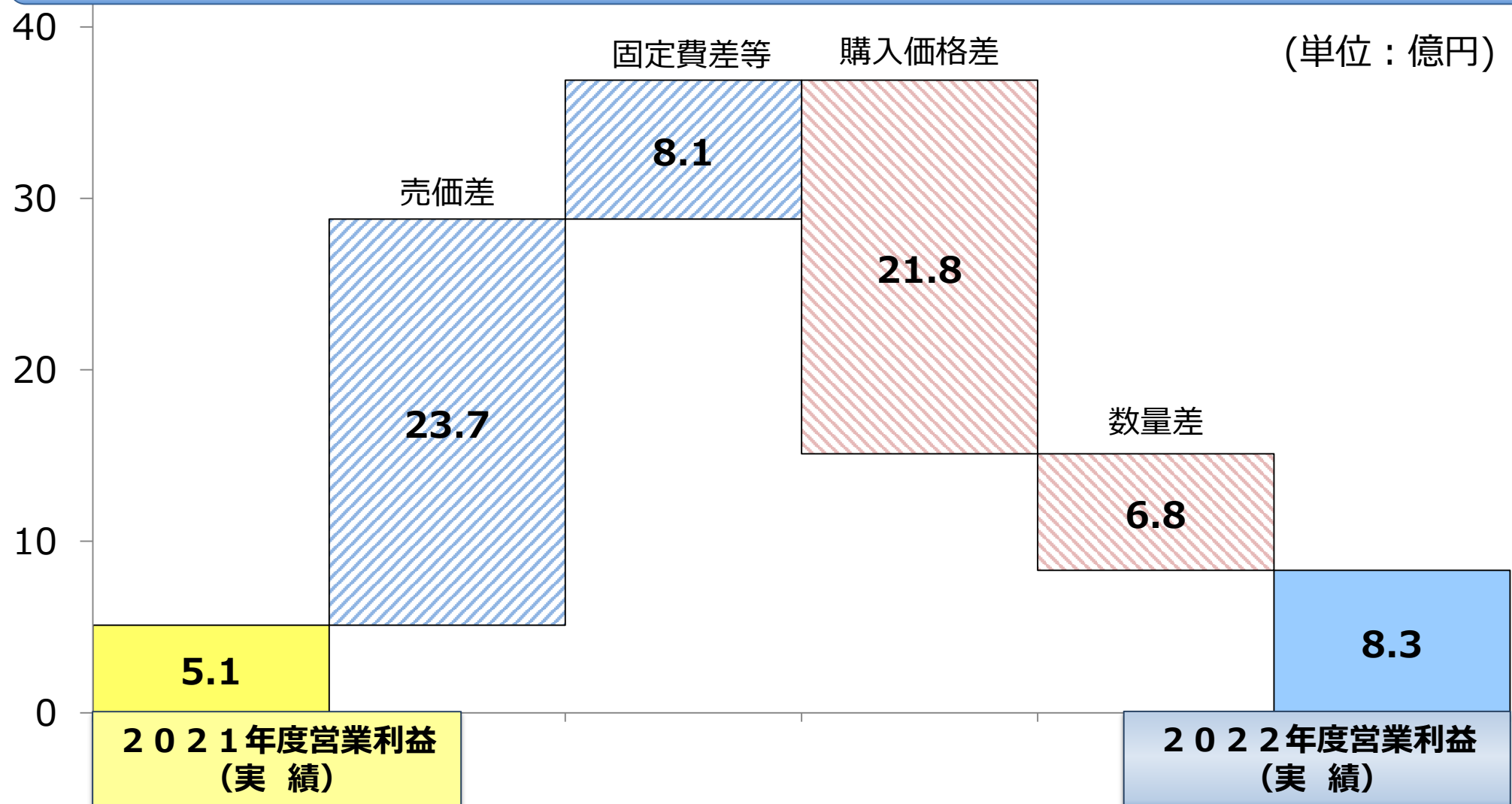
	2022年度 実績	2021年度 実績	増 減	増減の主な内訳
ア ジ ア	5,759	5,624	134	農薬関連 (↑) イオン液体 (↓)
北 米	1,486	1,538	△52	触媒関連 (↓)
欧 州	3,595	2,486	1,109	腎疾患薬等関連 (↑)
そ の 他	8	8	0	
輸 出 合 計	10,849	9,657	1,191	(円安によるプラス影響+1,100)
為替レート (円/米ドル)	(135.63)	(112.86)	(22.77)	
輸出売上比率	58.3%	55.8%	+2.5%	

2. 2022年度決算概要

100年の技術と信頼を明日へ



(4) 営業利益分析【前期比】



2. 2022年度決算概要

100年の技術と信頼を明日へ



(5) 貸借対照表

(単位：億円)

借方科目	(2022年3月末)	(2023年3月末)	増 減	貸方科目	(2022年3月末)	(2023年3月末)	増 減
[資産の部]	347.1	390.8	43.7	[負債の部]	127.7	170.3	42.6
流動資産	128.8	149.3	20.5	流動負債	60.3	86.8	26.5
固定資産	218.3	241.5	23.2	固定負債	67.4	83.5	16.1
				[純資産の部]	219.4	220.5	1.2
合 計	347.1	390.8	43.7	合 計	347.1	390.8	43.7

●主な増減要因（資産）

棚卸資産	+	19億円
CMIV設備投資	+	35億円

●主な増減要因（負債）

借入金	+	54億円
買掛金	△	6億円
設備未払金	△	4億円

2. 2022年度決算概要

100年の技術と信頼を明日へ



(6) キャッシュ・フロー【推移】

(単位：億円)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
営業キャッシュ・フロー	7.3	7.8	19.2	26.2	△0.3
投資キャッシュ・フロー	△24.6	△22.3	△39.1	△41.9	△50.9
フリー・キャッシュ・フロー	△17.3	△14.5	△19.9	△15.7	△51.3
財務キャッシュ・フロー	△3.0	△2.8	15.6	18.6	49.1
現金等同等物増減	△20.4	△17.4	△4.3	3.2	△2.1
期末現預金残高	24.2	6.9	2.6	5.8	3.7
期末借入金残高	8.3	8.5	28.5	52.5	106.5

目 次

100年の技術と信頼を明日へ



1 .会社概要		2
2 .2022年度決算概要		7
◆ 3 .2023年度業績見通し		14
4 .中期経営計画進捗・トピックス		20
5 .その他		36

3. 2023年度業績見通し

100年の技術と信頼を明日へ



(1) 前提条件

- 為替前提
 - ・¥130.00/\$
 - ・¥140.00/€
- 原料価格前提
 - ・国産ナフサ価格 ¥70,000/kl
 - ・メタノール価格 \$360.00/ton
- その他
 - ・定期修繕：2024年2月

3. 2023年度業績見通し

100年の技術と信頼を明日へ



(2) 2023年度業績予想【概要】

(単位：百万円)

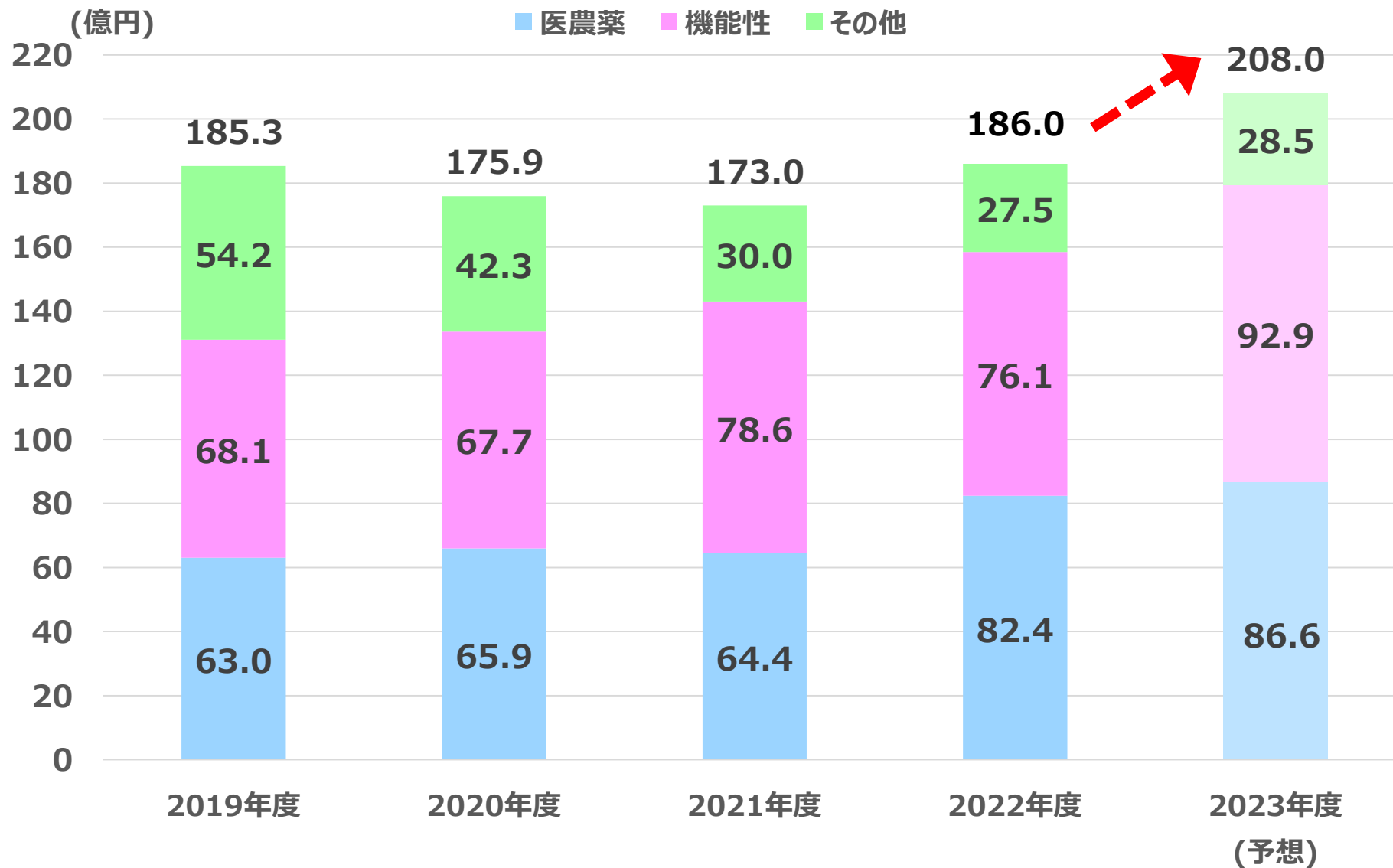
	2023年度 予 想	2022年度 実 績	増 減 (前期比)	2023年度 中期計画
売 上 高	20,800	18,601	2,199	20,400
営 業 利 益	900	832	68	1,500
経 常 利 益	840	855	△15	
当期純利益	630	690	△60	1,000
1株当たり配当金	100円	100円	-	

3. 2023年度業績見通し

100年の技術と信頼を明日へ



(3) 製品グループ別売上高【推移】

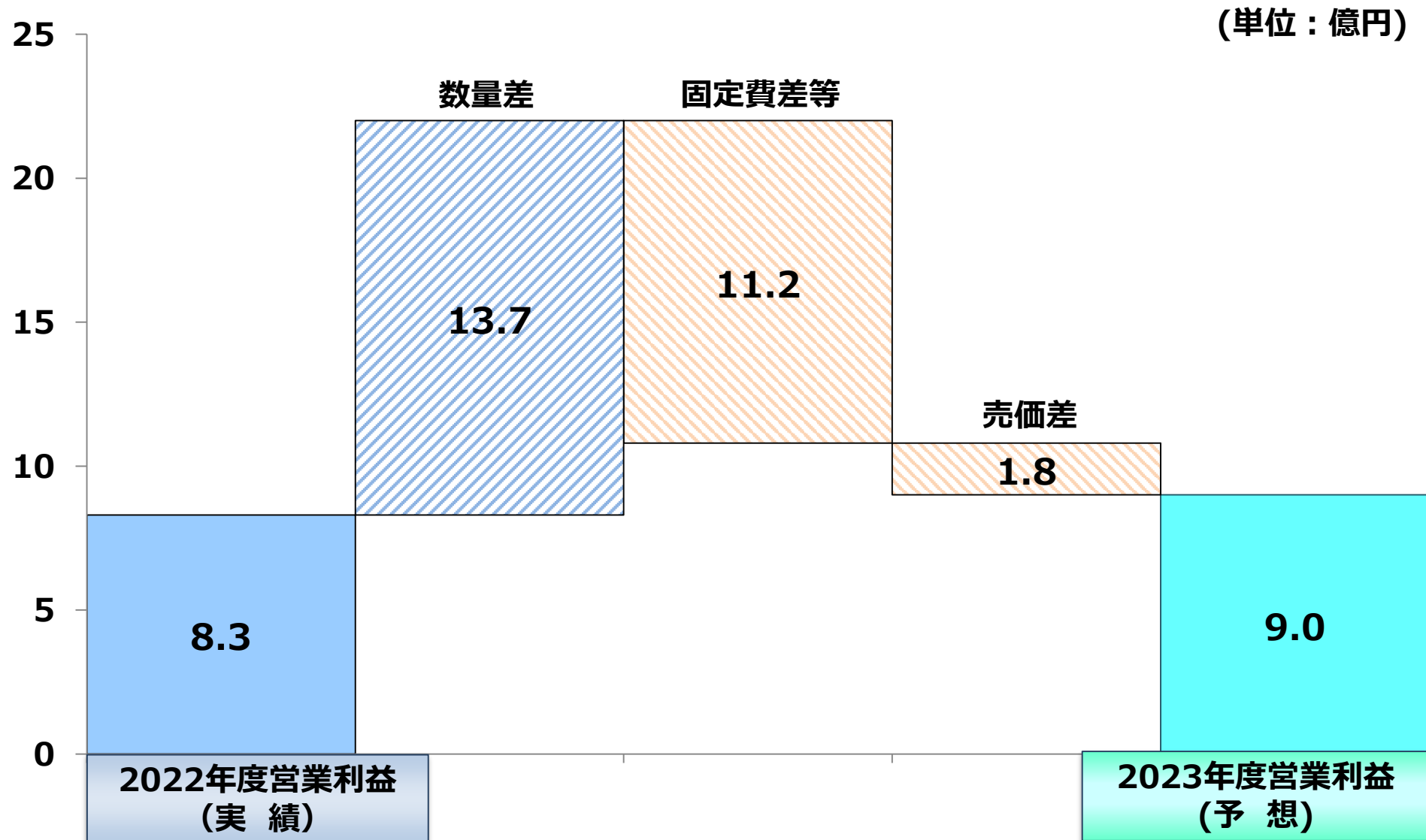


3. 2023年度業績見通し

100年の技術と信頼を明日へ



(4) 営業利益分析【前期比】

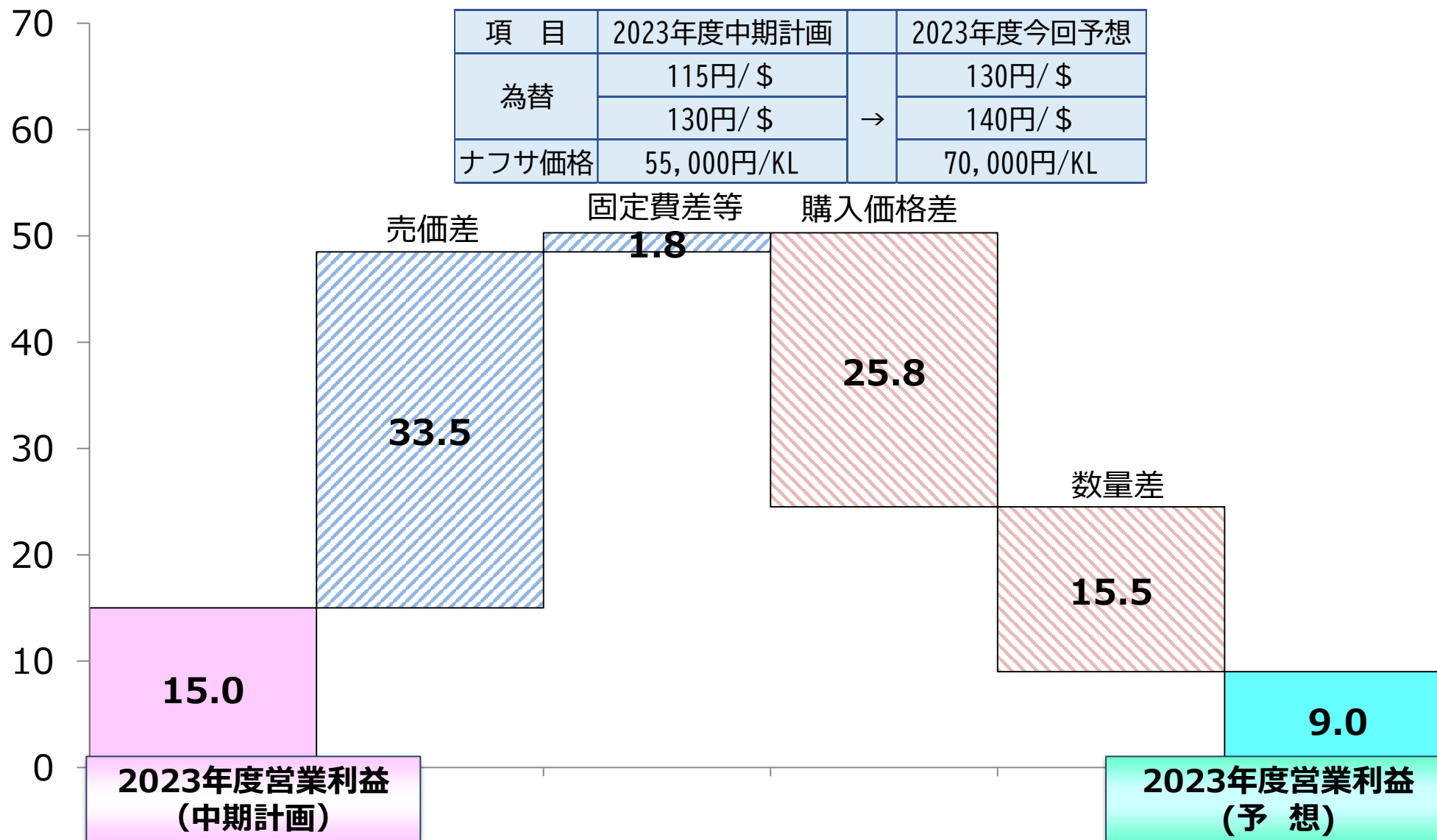


3. 2023年度業績見通し

100年の技術と信頼を明日へ



(5) 営業利益分析【中期比】



目 次

100年の技術と信頼を明日へ



1 .会社概要		2
2 .2022年度決算概要		7
3 .2023年度業績見通し		14
◆ 4 .中期経営計画進捗・トピックス		20
5 .その他		36

4. 中期経営計画進捗

(1) 業績推移

KOEI VISION 2030

(金額：億円)

中期経営計画（2022年度-2024年度）

『伝承と挑戦』KX2.0

項目	2022年度		2023年度		2024年度
	実績	中期計画	予想	中期計画	中期計画
売上高	186	195	208	204	214
営業利益	8	11	9	15	21
当期利益	7	8	6	10	15
EBITDA	33	36	39	45	53

(前提条件)

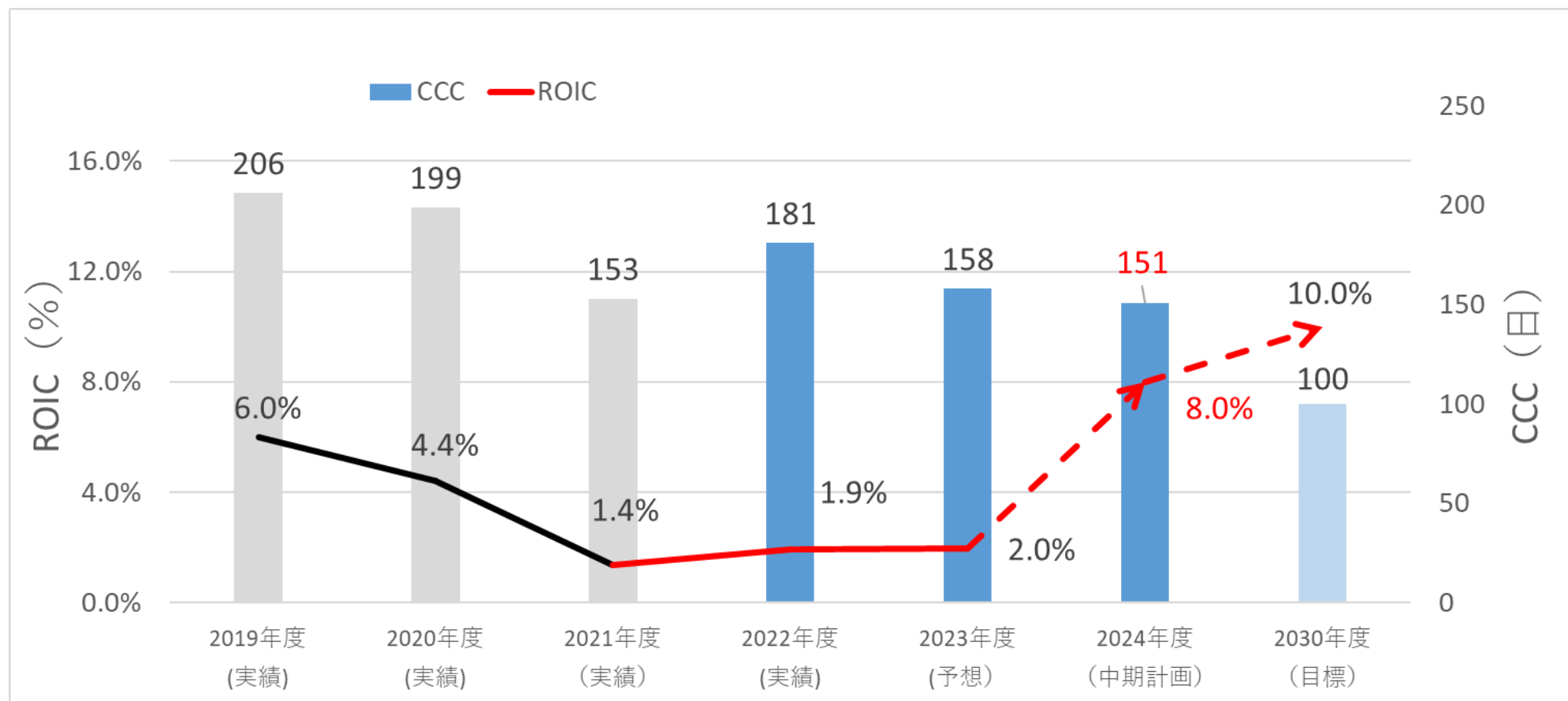
為替(\$/円)	136	125	130	110	110
(€/円)	142	135	140	130	130
ナフサ(KL/円)	76,800	82,000	70,000	50,000	50,000

2030年度
売上高:300億円
ROIC:10%

※EBITDA: 金利・税金・償却前利益 (Earnings before interest, taxes, depreciation and amortization)

4. 中期経営計画進捗

(2) 経営指標推移



※ROIC：投下資本利益率 (Return on invested capital)

※CCC：現金循環化日数 (Cash conversion cycle)

4. 中期経営計画進捗

(3) 基本方針



1) 事業成長戦略加速



2) 経営基盤強化



3) 人材育成強化・加速

4. 中期経営計画進捗

(3) -1) 事業成長戦略加速 進捗サマリー

①基盤製品の競争力強化 / 高付加価値化

- ・ポリエーテルアミン(バイオ由来) : KOLFAMIN商標登録及び複数社にサンプル提供
- ・次世代アミン触媒: 触媒処方に目途がつき実装化検討中
- ・CO₂吸収材: 川崎重工業株式会社向けCO₂吸収アミン化合物供給

②機能製品・新規事業拡大

- ・CMIVプラント: 2022.10.1～操業開始 (計画通り)
- ・有機金属触媒: 全体需要減少も一部新製品好調
- ・住友化学グループとの連携強化: 複数品目の工業化検討中
- ・セルロース溶解イオン液体: 工業化に目途、セルロール溶解以外にも用途探索中

③事業ポートフォリオの高度化

- ・気相プラントの最適生産体制検討中
- ・他社との事業提携の可能性検討

4. 中期経営計画進捗

(3) -1) 事業成長戦略加速

進展① CO₂吸収アミン化合物供給

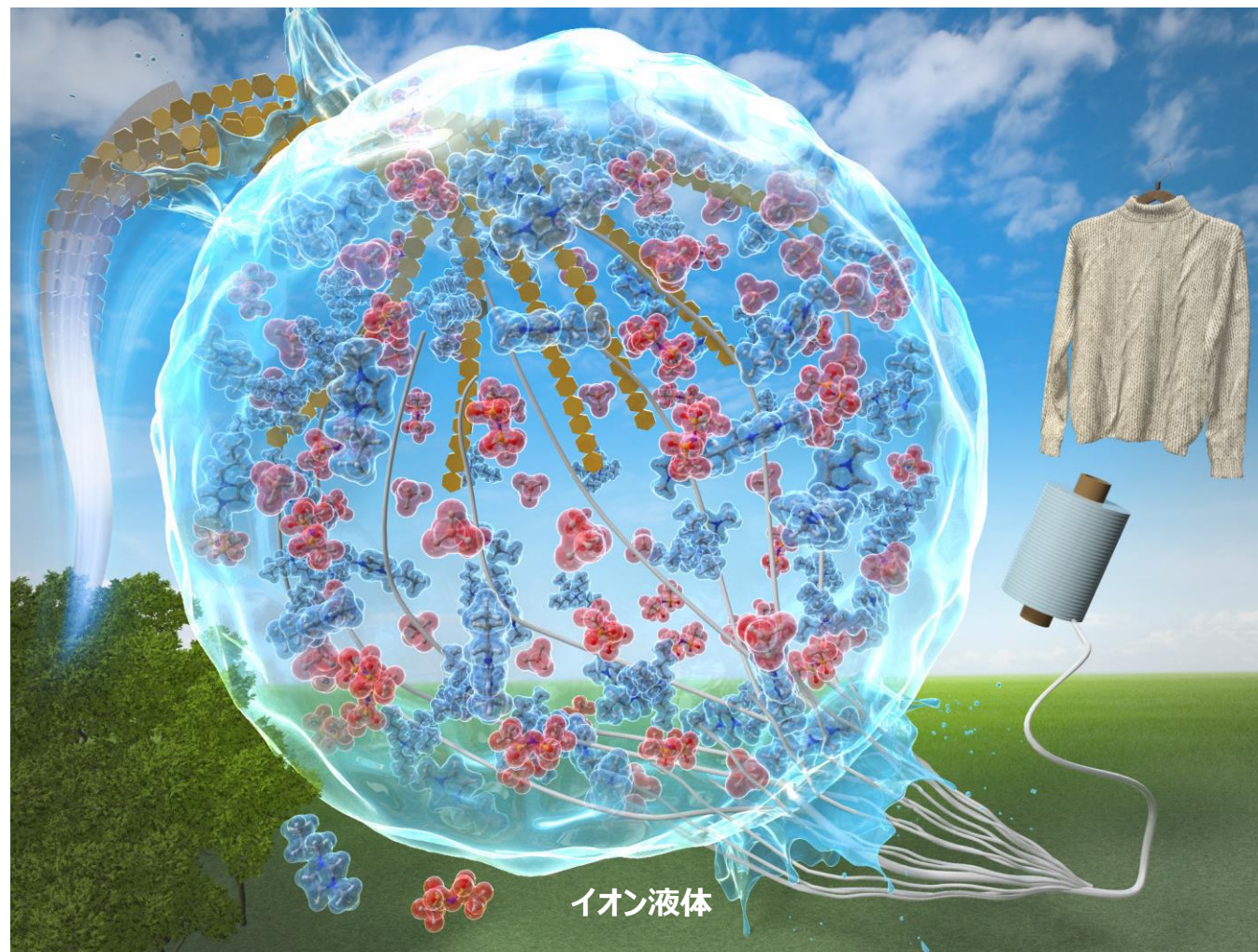


※固体吸収剤による分離回収技術実証のイメージ

4. 中期経営計画進捗

(3) -1) 事業成長戦略加速

進展② セルロース溶解イオン液体共同研究 (信州大)



4. 中期経営計画進捗

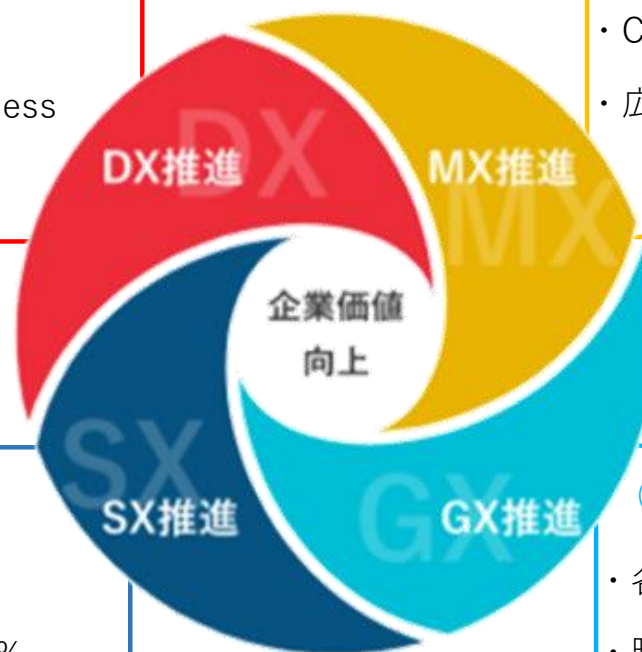
(3) -2) 経営基盤強化 進捗サマリー

① デジタル革新

- ・ Plant, R&D, SCM, Officeの各分野で20プロジェクト推進中
- ・ 全役員社員を対象にAidmy Business受講しDXリテラシー向上中

② マネジメント革新

- ・ ROIC:0.5ポイント改善(1.4%→1.9%)
- ・ CCC:28日増加(153日→181日)
- ・ 広栄化学レポート発行



④ サステナビリティ革新

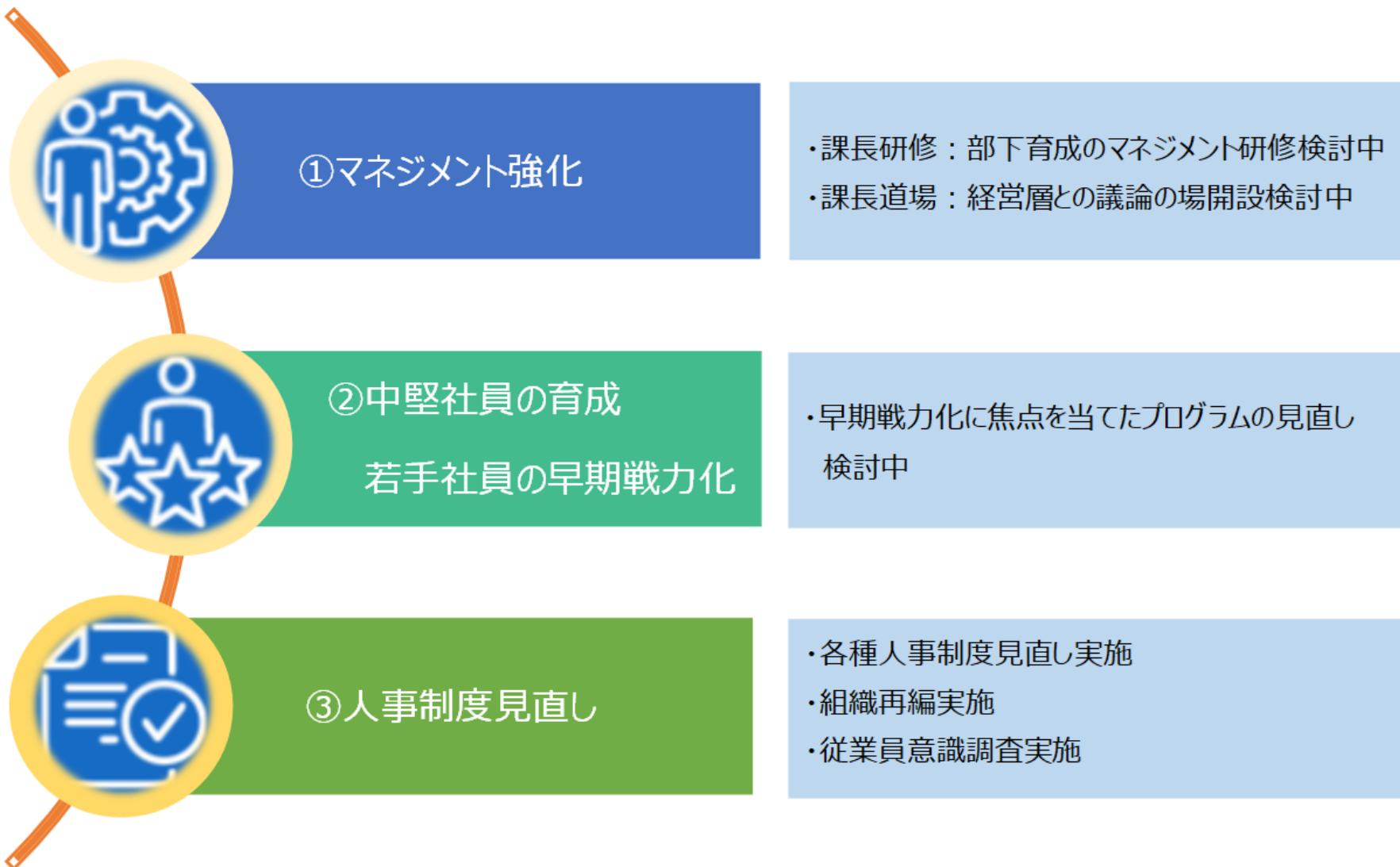
- ・ 太陽光発電導入検討中
- ・ 障がい者雇用比率：2022年度3.7%
(KPI 2.5%以上)
- ・ 新卒採用女性比率：2022年度14.3%
(KPI 20%以上)

③ ガバナンス革新

- ・ 各種委員会再編後、適切に運用中
- ・ 時事テーマ監査・スポット監査導入による監査レベルアップ実施

4. 中期経営計画進捗

(3) - 3) 人材育成強化・加速 進捗サマリー



4. 中期経営計画進捗

(3) - 3) 人材育成強化・加速

従業員意識調査の結果概要

(2023年2月実施 回収率97.8%)

「コンプライアンス」項目：高評価

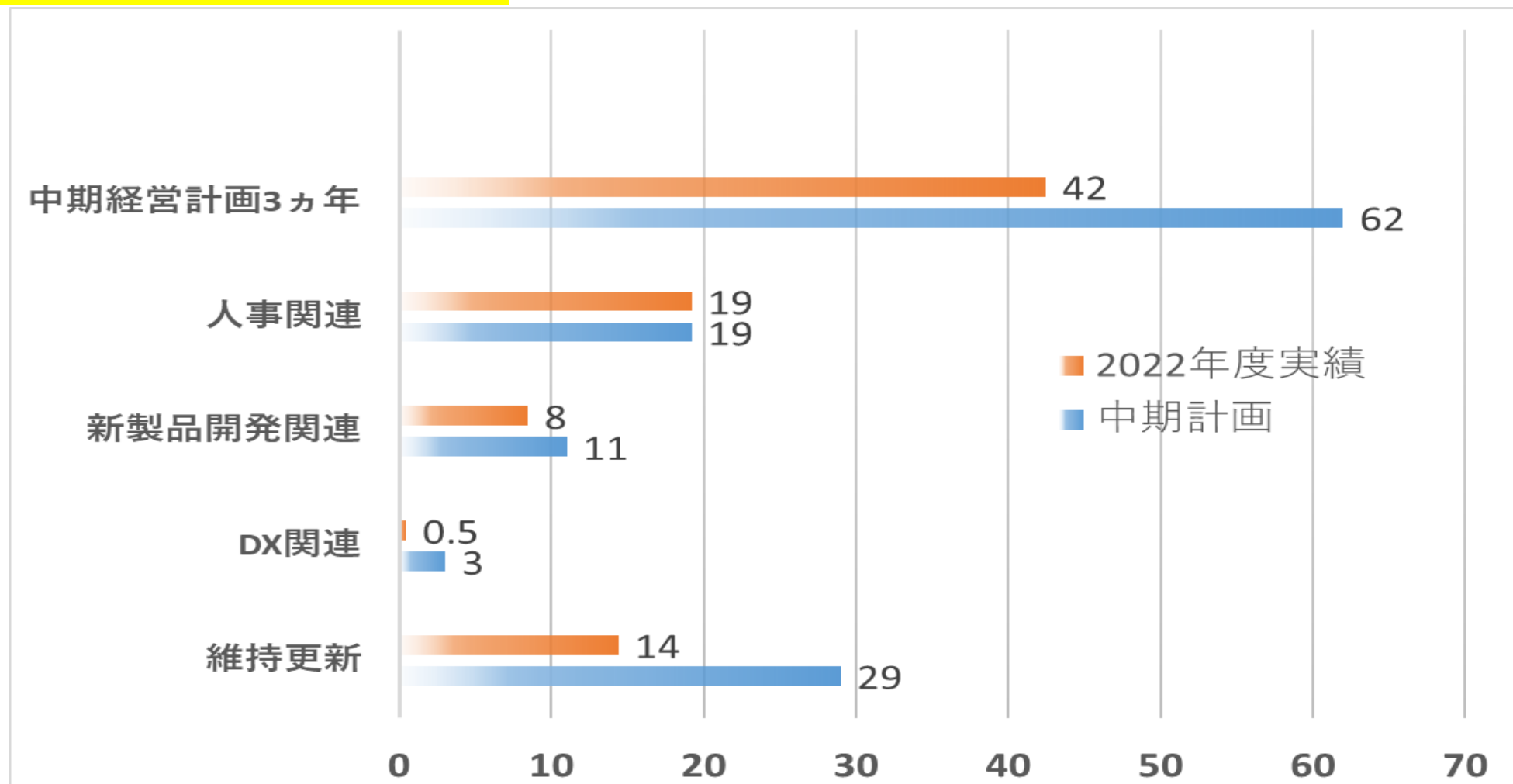
「人事制度」項目：改善の余地あり

4. 中期経営計画進捗

(4) 設備投資計画 進捗サマリー

(意思決定ベース)

【金額:億円】



4. 中期経営計画進捗

(5) サステナビリティ活動推進

持続可能な価値創出のための重要課題、広栄化学KPI

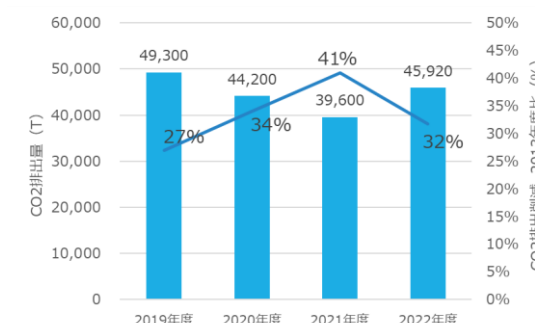
		広栄化学KPI
社会価値創出に関する重要課題     	環境分野への貢献	CO₂排出量 (Scope 1 + 2) 【目標：2013年度対比50%削減】
	【気候変動の緩和と適応】	
	【自然資本の持続可能な利用】	エネルギー消費原単位改善
	食糧分野への貢献	農薬原料・中間体売上高
	ヘルスケア分野への貢献	医薬原料・中間体売上高
将来の価値創造に向けた重要課題   	ICT関連分野への貢献	電子材料関連製品売上高
	イノベーションの推進	新製品売上比率 合理化金額の累積
	DXによる競争力強化	デジタル成熟度判定
	人材： ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン、育成・成長、健康	新卒採用に占める女性社員割合 【目標：20%以上】
		障がい者雇用率 【目標：2.5%以上】

4. 中期経営計画進捗

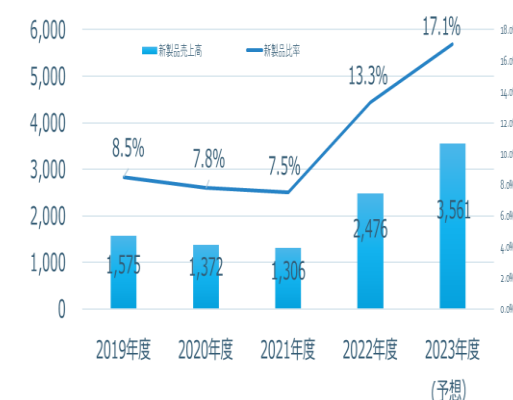
(5) サステナビリティ活動推進状況

KPI項目	2021年度実績	2022年度実績	推移
CO ₂ 排出量 (Scope 1 + 2)	41%削減	32%削減	↓
エネルギー消費原単位改善	0.1%	-0.8%	↓
農薬原料・中間体売上高	20億円	27億円	↑
医薬原料・中間体売上高	44億円	55億円	↑
電子材料関連製品売上高	52億円	45億円	↓
新製品売上比率	7.5%	13.3%	↑
合理化金額の累積	6億円	7億円	↑
デジタル成熟度判定	1.5	1.9	↑
新卒採用に占める女性社員割合	12.5%	14.3%	↑
障がい者雇用率	2.3%	3.7%	↑

CO₂排出量 (Scope1+2)
目標：2013年度比50%削減 (2030年度)



新製品売上高及び比率



広栄化学レポートでは、各KPIのデータ推移、TOPICSを掲載。

KPIの改善に向けて、引き続き取組みを推進する。

4. 中期経営計画進捗

(5) サステナビリティ活動推進 非財務情報の開示強化・充実

<ご参考：女性活躍推進法行動計画における情報公開（当社HP内）>

●採用した労働者に占める女性労働者の割合

2023年4月新卒採用

	男性	女性
営業職	1名（100%）	0名（0%）
研究職	2名（67%）	1名（33%）
化学プラント オペレーター	2名（100%）	0名（0%）
事務職	1名（25%）	3名（75%）
計	6名（60%）	4名（40%）

●男女別の採用における競争倍率

男性 7.3 倍 女性 6.4 倍

●2023年4月末現在の女性社員比率（除く出向受け）

女性社員 49 名 / 全社員 417 名 11.8%

●役員に占める女性の割合（2023年4月1日現在）

女性役員 2 名 / 全体 14 名 14.3%

●管理職に占める女性労働者の割合（2023年4月1日現在）

女性管理社員 3 名 / 全体 89 名 3.4%

●係長級にあるものに占める女性労働者の割合（2023年4月1日現在）

女性係長 9 名 / 全体 51 名 17.7%

4. 中期経営計画進捗

(5) サステナビリティ活動推進 非財務情報の開示強化・充実

＜ご参考：女性活躍推進法行動計画における情報公開（当社HP内）＞

- 労働者の一月当たりの平均残業時間（2022 年実績）

全体 20.44 時間

- 雇用管理区分ごとの労働者の一月当たりの平均残業時間（2022 年実績）

	男性	女性
一般社員	22.1h	13.5 h
再雇用・その他	12.3 h	1.7 h
計	21.7 h	12.8 h

- 有給休暇取得率（2022 年実績） 74.6%

- 雇用管理区分ごとの有給休暇取得率（2022 年実績）

	男性	女性
管理社員	56.3%	43.1%
一般社員	81.9%	70.8%
再雇用・その他	82.2%	85.6%
計	75.3%	69.6%

- 10 事業年度前及びその前後の事業年度に採用された労働者の男女別継続雇用割合
男性 76.2% 女性 66.7%

- 男女別の育児休業等取得率及び平均取得期間（2022 年度）

育児休業等取得率 女性 100%、男性 50%

育児休業平均取得期間 女性（育児休業中）、男性 66.7 日/人

- 男女の賃金の差異

全労働者	うち正規雇用労働者	うち非正規雇用労働者
81.2%	85.1%	38.7%
	うち管理社員	うち定年後再雇用
	103.3%	45.9%
	うち一般社員	うち臨時社員
	92.1%	159.1%

4. 中期経営計画進捗

(5) サステナビリティ活動推進

EcoVadis 「ゴールド」 評価獲得



エコバディス（EcoVadis）社（本社：フランス）実施のサステナビリティ調査において、評価対象の**上位5%**に相当する**「ゴールド」**評価を獲得。

目 次

100年の技術と信頼を明日へ



1 .会社概要		2
2 .2022年度決算概要		7
3 .2023年度業績見通し		14
4 .中期経営計画進捗・トピックス		20
◆ 5 .その他		36

5. その他

(1) 業績・株価・経営指標 推移

(百万円)

	2019年度 (実績)	2020年度 (実績)	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)	2023年度 (予想)
売上高	18,528	17,589	17,296	18,601	20,855
営業利益	1,854	1,484	508	832	900
当期利益	1,568	1,851	940	690	630
純資産	20,997	22,066	21,934	22,054	—
期末日株価(円)	1,530	2,935	2,351	2,343	—
時価総額	7,484	14,356	11,499	11,460	—
PBR (倍)	0.4	0.7	0.5	0.5	—
ROE (%)	7.6%	8.6%	4.3%	3.1%	2.8%
ROIC (%)	6.0%	4.4%	1.4%	1.9%	2.0%

5. その他

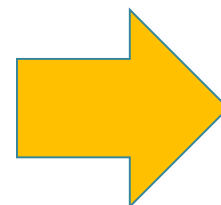
(2) 資本コストを意識した経営実現に向けた対応について

当社では投下資本利益率（ROIC）を中期経営計画の目標に設定しております。

【中期経営計画最終年度(2024年度)目標】

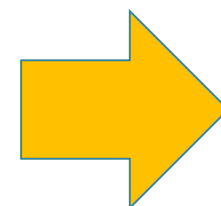
ROIC 8%

- ・事業成長戦略加速
- ・経営基盤強化
- ・人材育成強化・加速



企業価値向上

- ・CCCの短縮による資本の効率化
- ・広報・IRの強化、開示の充実による株価向上



PBR改善

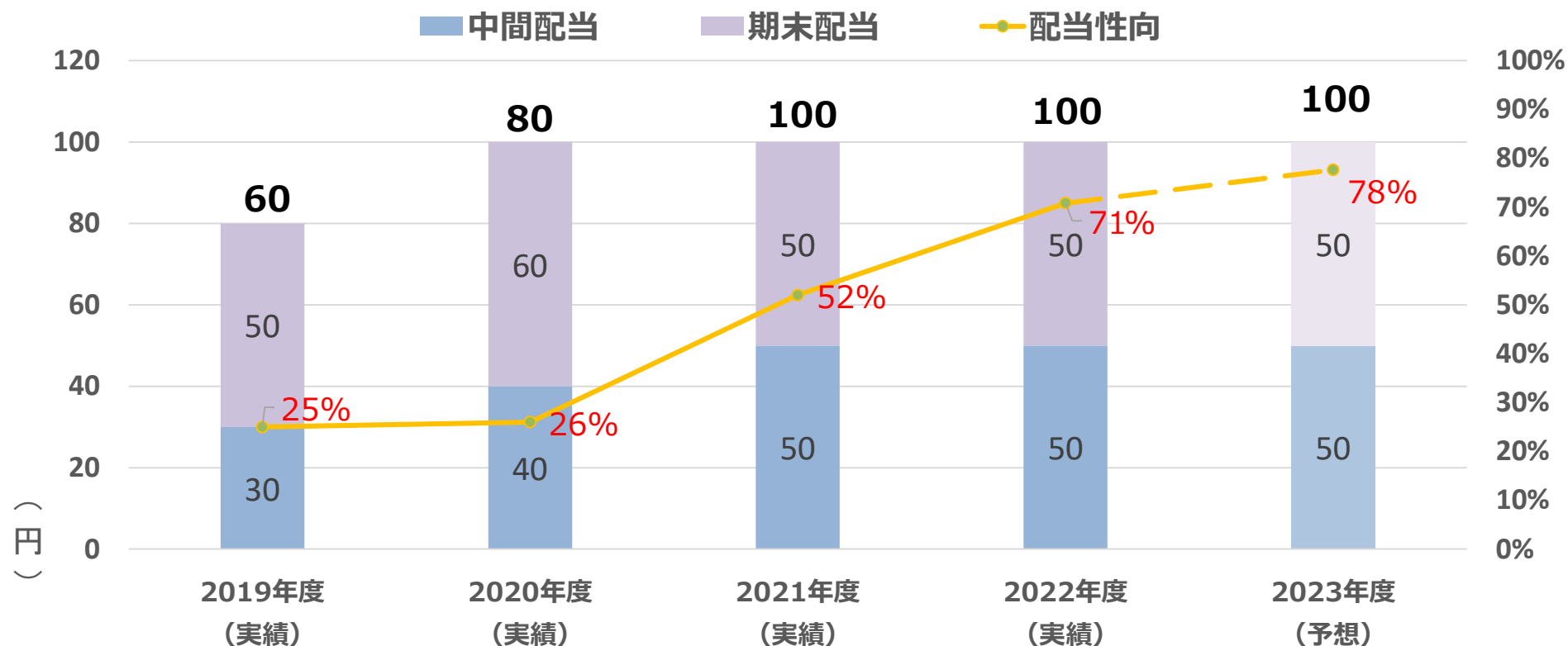
5. その他

(3) 配当政策

配当は、株主の長期的かつ安定的な利益の確保と、会社業績の状況、将来的な事業展開に備えるための株主資本の充実などを総合的に勘案し決定する。

配当性向については、原則 50%を目途に株主還元を実施する方針とする。

配当実績予想



ご清聴ありがとうございました。

【注意事項】

本資料には、当社に関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれています。これらの事項は、作成時点において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画・目標等が記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、研究開発の成否・進捗その他の見通し等が記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。